

蒲生干潟周辺の塩分濃度 66

Table.1 2024. 7月 塩分濃度(%)

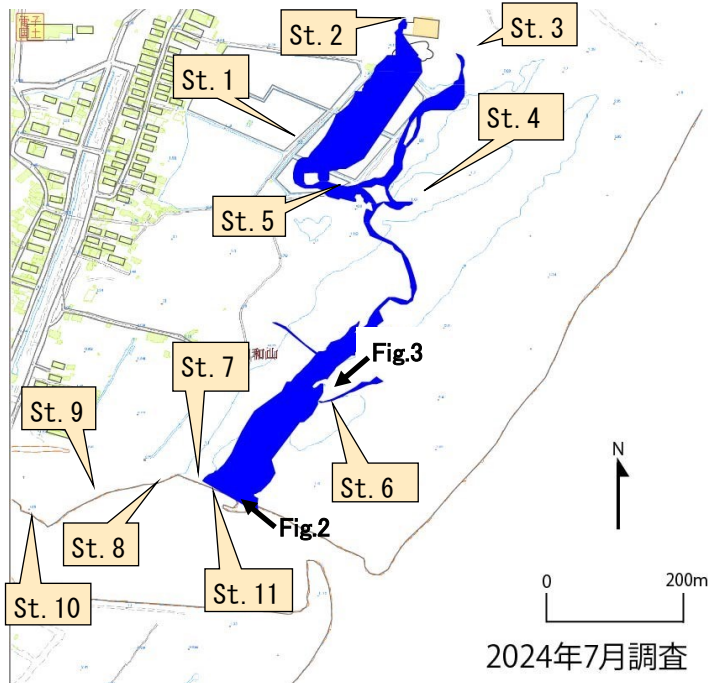


Fig.1 2024/7/17 採水点

採水点	2024 7/17	2024 6/12	増減	2023 7/20	増減
St. 1	1.0	2.7	-1.7	1.3	-0.3
St. 2	0.9	1.2	-0.3	2.1	-1.2
St. 3	1.0	1.3	-0.3	1.5	-0.5
St. 4	2.0	2.9	-0.9	2.5	-0.5
St. 5	1.7	3.0	-1.3	1.9	-0.2
St. 6	2.5	3.3	-0.8	2.2	0.3
St. 7	2.0	3.2	-1.2	1.8	0.2
St. 8	2.3	3.2	-0.9	1.9	0.4
St. 9	-	2.1	-	-	-
St. 10	0.8	1.5	-0.7	0.4	0.4
St. 11	2.6	2.2	0.5	1.8	0.8

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 導流堤付近(St.11)の様子



Fig.3 南東潟湖の接続部分(St.6)の様子

調査日時：2024年7月17日（水）9:45~11:15（干潮 6:35 潮位 50cm），天気：くもり

干潮後の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。St.9は水量が少なく、測定していない。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.7月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査(2024.6月, 2023.7月)結果と比較した。

潟湖全体の水量は非常に少なく、導流堤部分は完全に露出していた（Fig.2）。南東潟湖と南側潟湖との接続部は、かろうじてつながっていた（Fig.3）。塩分濃度は、潟湖内の全ポイントで先月を下回った。特にSt.1, 5, 7では、先月を1.0%以上下回った。しかし、1月から7月までの平均と比較すると、先月が特別に高い値を示しており、今月の値はほぼ平均値と同等であった。昨年の値と比較しても、St.1, 5, 7の3つとも0.3%以内の値を示した。また、北側の潟湖については、昨年の値と比較しても全ポイント（St.1~5）で低い値を示した。

（沼尾和弥）